

▼ニューレプチル錠・▼細粒・▼内服液 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 プロペリシアジン propericiazine 【分類】 精神神経用剤 [フェノチアジン系]

【単位】 ▼5mg・▼10mg・▼25mg錠, ▼細粒10%, ▼1%内服液

【常用量】 10~60mg/日

【用法】 分割投与

【透析患者への投与方法】 データがなく不明 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 データがなく不明 (5)

【特徴】 ピペリジン系フェノチアジン誘導体。ジメチルアミノプロピル系よりも鎮静催眠作用が、ピペラジン系よりも錐体外路症状が弱い。統合失調症の不安、緊張、抑うつ気分、幻覚、妄想、作為体験、精神運動興奮、自閉、自発性減退等の各種症状に効果を示す。ハロペリドールより効果に劣る (Nishikawa T, et al: Psychopharmacology (Berl) 82: 153-6, 1984)

【主な副作用・毒性】 悪性症候群、突然死、血球減少、麻痺性イレウス、遅発性ジスキネジア、SIADH、眼障害、静脈血栓、過敏症、血圧降下、頻脈、不整脈、消化器症状、パーキンソン症候群、体重増加、女性化乳房、錯乱、不眠、めまい、頭痛、口渇、鼻閉など。

【F】 資料なし (1)

【tmax】 資料なし (1)

【代謝】 資料なし (1)

【排泄】 資料なし (1)

【t1/2】 資料なし (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 365.49

【透析性】 除去されない (1)

【薬物動態】 投与量と血中濃度の関係には個人差が大きい (Aoba A, et al: Arch Gerontol Geriatr 5: 147-57, 1986 PMID: 2875692)

【O/W 係数】 676 [1-オクタノール/buffer, pH 7.8] (1)

【相互作用】 アドレナリンの血圧反転 (1)

【更新日】 20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。